

「ピーマン」の環境制御を用いた 収益性の高い増収技術と新たな天敵等を利用 した害虫防除の検討会を開催します

鹿島地帯特産指導所では、環境制御技術を活用し、日射量に合わせてハウス内の炭酸ガス濃度を最適化する「**日射比例炭酸ガス施用技術**」とピーマンの収量向上に繋がる新たな整枝法「**2本垣根仕立て**」、日射量に応じた遮光カーテン開閉や遮光・遮熱資材利用による「**日焼け果の発生軽減技術**」を開発しました。

また、病害虫対策について、「**天敵（タバコカスミカメ）活用によるアザミウマ類の防除技術**」や「**輪作作物としてのアスパラガス導入による線虫の防除技術**」の取り組みを開始しています。ご興味のある方は10月27日（月）までに、出席報告書を下記申込先の電子メール、あるいはFAXでお申し込みください。

【日 時】 令和7年10月31日（金）
14時～16時

（受付開始13：30）

【場 所】 茨城県農業総合センター
鹿島地帯特産指導所
（茨城県神栖市息栖2815）

【内 容】

- （1）日射比例炭酸ガス施用、日射量に応じた遮光カーテンの開閉、および整枝法による収量と経済性への影響
- （2）タバコカスミカメを用いたアザミウマ類の防除技術
- （3）アスパラガス1年養成株全収穫栽培法による線虫の防除効果
- （4）常温煙霧機による省力的な散布方法の紹介



ピーマンの炭酸ガス局所施用の様子



天敵タバコカスミカメ

※雨天決行ですが、荒天の場合は中止することもあるので、予めご了承ください。

【問い合わせ・申込先】 鹿島地帯特産指導所

・電子メール（katoku@pref.ibaraki.lg.jp）

・TEL:0299-92-3637

・FAX：0299-93-1340